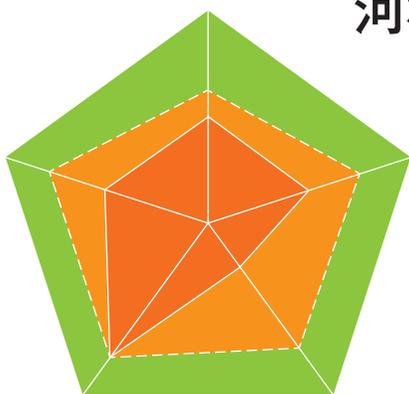


# WEBQU

## 活用実践事例集

中学校版

河村茂雄 [監修]



✿ さくら社

# WEBQUが期待される背景

## —教育目標と学校の現状の大きな乖離—

技術や産業の急激な変化、環境問題等、先が予測できない不確実性の高い現代社会では、変化する状況に、自律的に、多様な人々と協働して、問題解決できる能力・資質・能力（コンピテンシー）の育成が、とても重要になってきました。

同時に、学校現場では、子どもたちが他者と適切に関われず、同質的なグループや人間関係のなかでしか行動できない・異質な人々によるグループで課題解決することが苦手や回避する等が指摘され、それに対する教育の必要性が高まりました（文部科学省, 2011）。

この流れが、「主体的・対話的で深い学び」を掲げた2017年改訂の学習指導要領の内容につながっていき、学校教育でも能力・資質・能力の育成として、グループでの協働活動や協働学習の取組みが推進されてきました。

しかし、事態はさらに悪化し、2023年度、「無気力、不安」を主な要因とした不登校の小中学生数は11年連続の増加し、30万人を

大きく超えています。高校生も過去最高になっています。新型コロナの感染予防の自粛を経て学校でも対面の活動が復活しましたが、学級では対人関係がうまく取れない子どもたちも少なくないのです。

文部科学省は、仲間だけとの「会話」から多様な人々と主体的に協働できるように「対話」を活用した授業改善をすべし、と目標を掲げていますが、学校現場では「会話」ができる仲間もつくれない子どもが増えているのです。

つまり、筆者が強調したい教育現場の大きな問題は、文部科学省が掲げる教育目標と学校現場の子どもたちの実態に、大きな乖離が生じており、学級内でグループで協働活動・学習を設定しても、子どもたちは主体的に参加せずに活動が形骸化してしまうことが少なくないことです。このような実態の中で、現場の教師たちはどのように対応していけばいいのかと、混乱している面があるのです。

## 1 WEBQUの開発

2019年に労働基準法が改正されて「働き方改革」が推進されました。しかし、労働時間を減らせと言われるが、仕事内容はなかなか減らせず、かつ、教職員が増員されるわけでもありません。対策としては、次の2点

が重要です。

◎教職員が組織連携して、仕事の効率化をはかる

◎DX(デジタルトランスフォーメーション)・ITの活用により生産性を上げる

そこで、長年いじめや不登校などの対応に活用されてきた学級分析尺度 QU を、児童生徒が Web 上で質問に直接入力する形で

答える CBT (Computer Based Testing : テストの全てをコンピュータ上で行うもの) の WEBQU を開発しました (河村, 2020)。

## 2 WEBQUの活用の利点

◎入力し終わったら、“瞬時に” 分析されて、結果が出力される

⇒スピーディに対応ができる

すぐに校内研修会ができ教師たちが意欲的に取り組める

◎学級の一人ひとりの児童生徒の状態と学級集団の状態を、より向上させるために対応すべき指針が提供される

ナビゲーション機能を有する

⇒対応の指針が出されるので、教師たちが

連携して組織で取り組める

⇒多くの説明機能があるので、活用しながら子どもへの対応の仕方や学級集団づくりの方法について学ぶことができる

◎ WEBQU のデータを、他の機関のデータ(横の連携)、経年のデータ(縦の連携)と連携して活用することができる

⇒幅広い対策を立てて、他機関とも連携して取り組める

## 3 本書の特徴

本書は、WEBQU の機能や使用方法をオールラウンドに解説するものではありません。学校現場で教師たちが苦戦している問題、児童生徒の「不適応」や「不登校」「いじめ」「学習支援」,「学級集団づくり」や「授業の展開」,そして「教員組織」に関する具体的な問題に対して、WEBQU をどう活用して対処していくのか、そのプロセスを解説するものです。

児童生徒への対応の指針として、1 次的援助 (全体活動に自ら参加できる・予防・開発的支援が大事) ——2 次的援助 (全体の中で個別配慮が必要で早期発見・早期対応が大事) ——3 次的援助 (問題を抱え個別に特別な対応が必要), 以上の 3 段階があります。

WEBQU は、問題が起こってからの対応よりも、問題が起こらないような予防的対応や開発的な支援を重視していますので、具体的

対応で取り上げるのは、生徒指導面—学習指導面—教員組織に分け、2 次的⇒1 次的⇒3 次的の順にします。

本書では、特定の事例を取り上げることになりますが、その対処で WEBQU の様々な機能を活用します。そのやり方や手順を理解できれば、他の事例にも必ず応用できると思います。

本書を活用して WEBQU が積極的に活用され、学校現場の多くの問題が改善されれば幸いです。

2025 年 5 月

早稲田大学 教授

河村茂雄

## はじめに

- WEBQU が期待される背景 ..... 2

## WEBQU の概要

- WEBQU の目的と特徴・活用方法 ..... 8
- WEBQU の定期的更新について ..... 12
- まなびポケットとの関連 ..... 14

## 第1章 生徒指導面の対応

### 1 不適合の問題

- ① 不適合の可能性の高い生徒を見つけよう ..... 18
- ② 学級集団の問題を見つけよう ..... 24
- ③ 学級の「やる気」の傾向を見て対応を考えよう ..... 30
- ④ 学級のソーシャルスキルタイプを見て対応を考えよう ..... 34
- ⑤ すぐに対応が必要な生徒の発見と対応を考えよう ..... 40
- ⑥ 生徒のニーズや学級の実態を教師間で共有しよう ..... 44
- ⑦ 生徒の悩みを理解して対応を考えよう ..... 46

## 2 不登校の問題

- ① 不登校の可能性の高い生徒の発見と対応…………… 50
- ② 不登校の可能性の高い生徒の傾向①（友人関係）…………… 54
- ③ 不登校の可能性の高い生徒の傾向②…………… 56
- ④ 人間関係を見て対応を考えよう…………… 60
- ⑤ 休み始めた生徒への対応を考えよう…………… 64

## 3 いじめの問題

- ① いじめ被害の可能性の高い生徒の発見と対応…………… 68
- ② 友人関係にトラブルを抱える生徒を見つけよう…………… 72
- ③ 被害を言えない生徒の発見と対応を考えよう…………… 74
- ④ いじめを受けていて、すぐに対応が必要な生徒への対応を考えよう…………… 76
- ⑤ ネットいじめの可能性の高い生徒を見つけよう…………… 80

## 4 学級集団の問題

- ① やる気やソーシャルスキルを見て対応を考えよう…………… 86
- ② 前回との比較から実態を理解し対応しよう…………… 88
- ③ あいまいな回答の多い生徒に注目しよう…………… 92
- ④ トラブルが多いのに満足している生徒に必要な対応を考えよう…………… 94
- ⑤ インクルーシブ型の学級を目指そう…………… 96
- ⑥ ヘルプサインをキャッチして対応を考えよう…………… 100
- ⑦ 生徒のニーズや学級の実態を教師間で共有して対応しよう…………… 104

## 第2章 学習指導面の対応

### 1 学級集団の状態と授業展開の問題

- ① 学力が気になる学級集団の傾向を捉えよう…………… 108
- ② 「かたさ型」学級, 「ゆるみ型」学級の特徴を捉えよう…………… 110
- ③ 発表に不安がある生徒が多い学級集団への対応を考えよう…………… 114
- ④ 「不安定型」学級, 「崩壊型」学級への対応を考えよう…………… 116
- ⑤ 進路意識の低い生徒の多い学級への対応を考えよう…………… 120

### 2 学習支援の問題

- ① 学力が気になる生徒の傾向① (やる気 / 学習意欲)…………… 124
- ② 学力が気になる生徒の傾向② (クロス分析からの発見と対応)…………… 130
- ③ 学力は高いが学習意欲が低い生徒への対応を考えよう…………… 134
- ④ 進路意識の低い生徒に注目しよう…………… 136
- ⑤ やる気が著しく低下している生徒への対応を考えよう…………… 138

## 第3章 教員組織面への対応

- 〈豆知識〉 ● ロール設定…………… 144
  - ① 管理職画面を組織対応に活用しよう (各種機能)…………… 148
  - ② 事例検討会を効率的にやろう…………… 154
  - ③ 2回のデータの変化を組織対応に活かそう…………… 160
  - ④ 返却帳票を活用しよう…………… 162
- 〈豆知識〉 ● 学力クロス機能の活用方法について…………… 164

# COLUMN

## 現場での取組み

- ① WEBQU 導入の秘訣は教師の不安感・負担感を減少させること……………48
- ② WEBQU を使ったいじめ・不登校予防の PDCA サイクルの活用……………59
- ③ WEBQU を組織対応に活かした実践事例①……………71
- ④ WEBQU を組織対応に活かした実践事例②……………79
- ⑤ 教育相談コーディネーターとしての WEBQU の活用……………91
- ⑥ WEBQU を基盤とした組織的支援……………106
- ⑦ クロス分析を活用した座席表で、学級づくり……………122
- ⑧ WEBQU を使ってクラス編成……………129

## 視点

- ① 不登校の背景——「無気力・不安」をかかえる生徒たち……………53
- ② インクルーシブとは？……………99

## 活用のポイント

- ① WEBQU 結果を受け止めるのに苦慮している先生のサポートについて……………63
- ② 従来の QU と異なる型に判定される理由……………84
- ③ 自校結果一覧（管理職画面）の「学力クロス結果」で  
学年全体の状況を把握……………168
  
- WEBQU 講師一覧……………169

◎本書では、WEBQU の機能に関する知識を得ると同時に実践に活用していただけるよう、  
各項を「機能」と「活用」に分けて掲載してあります。

◎本書中の WEBQU 画面ではアンケートの質問文をそのまま掲載することができないため、  
抽象度を高めた表現としてあります。

# WEBQUの 定期的更新について

## 1 WEBQUのトップページからWEBQUマニュアルの確認ができるようにしよう

WEBQU では、より多角的な心理分析や詳細なアセスメントが行えるように、定期的にシステムの更新が行われております。システムの更新により新たな機能の追加が行われた際には、WEBQU のトップページと WEBQU

マニュアルで新機能が追加されたことが確認できます。

WEBQU のトップページや WEBQU マニュアルから確認したい新機能の内容を選択してみましょう。

### ◆ WEBQU のトップページから WEBQU マニュアルを確認する方法



### ◆ WEBQU マニュアルの一覧

WEBQU マニュアル&関連資料		Ver.5.3	2024.11.15
01	チラシ[両面]	Ver.3.3	2 枚
02	申込から実施までのイメージ図	Ver.5.1	12 枚
03	アンケート実施手順	Ver.2.4	10 枚
04	アンケート回答画面	Ver.1.4	18 枚
05	再実施手順	Ver.1.7	14 枚
06	操作マニュアル 学校管理職(主幹)用	Ver.6.4	43 枚
※新機能: 学級ソート順設定(P30)、FAQ(P39)、ユーザー削除(P41)、最新の機能情報(P42)			
07	操作マニュアル 学校担任用	Ver.6.1	44 枚

必要な資料名をクリックすると  
リンクから資料が確認できます。

## 2 WEBQUの新機能紹介からWEBQUマニュアルの機能説明を確認しよう

WEBQUのトップページで更新される情報として、新機能の紹介があります。ここではシステムの更新により新たに追加された機能の内容が紹介されています。表示されている

新機能をクリックすると、WEBQUマニュアルの目次に移動します。目次には新機能の文字が表記されているので、確認したい機能説明を選択し、確認することが可能です。

### ◆ WEBQUのトップページから新機能の説明を確認する方法

最新の機能情報 WEBQU マニュアル&関連資料URL

2025-05-02  
新機能リリース 2025年5月2日

以下の新機能/機能改善をリリースしました。

■前回比較/3回比較 結果表示の改善  
対象：学級担任  
アンケート結果の前回比較、3回分比較の表示（グラフ表示など）を改善しました。  
詳細は以下マニュアルをご確認ください。

[【07】操作マニュアル\\_学級担任用](#)

### ◆ WEBQU マニュアルの目次から新機能を選択する

目次	
1. WEBQUとは .....	3
2. 画面アクセス .....	4
WEBQUのトップ画面 .....	5
WEBQUのトップ画面 学校管理職(主幹)と担任を兼任の場合 .....	6
3. メニュー説明 .....	7
3-4. 要支援群・いじめ・不登校などの可能性が高く 注意すべき児童生徒の一覧 .....	22
4. 権限[ロール]の変更設定 .....	24
教員一覧 .....	24
担任一括設定 .....	26
5. 学級の管理の設定 .....	28
担任の設定 .....	28
学級ソート順設定 .....	30
特別支援学級設定 .....	31
6. 児童生徒管理 .....	32
7. 表示切替(男女切替機能)、コメント(男女切替機能) .....	25

### ◆ WEBQU マニュアルの目次で選択した新機能の説明を確認する

5.学級の管理の設定 \* 学級ソート順設定 新機能

学級の一覧表示を行う画面にて、学級の順番を変更することが可能になりました。  
意図しない位置に表示される学級（追加で登録した学級や 特別支援学級 など）がある場合は、  
本機能を利用して表示順を変更してください。

- ① 「学級管理」を押下します。
- ② 「学級ソート順設定」を押下します。学級の一覧が表示されます。
- ③ 表示順を変更したい学級の値を変更します。
- ④ 「この内容で設定する」ボタンを押下します。設定確認画面が表示されます。
- ⑤ 「OK」を押下し、表示順の変更を反映します。

WEBQU アンケート質問と回答一覧(見本) 小学校(高) 小学校(高) ○○市立○○中学校 氏名 [学校管理職(主幹)]

## 1 まなびポケットとは？

### 教育の新時代を支える

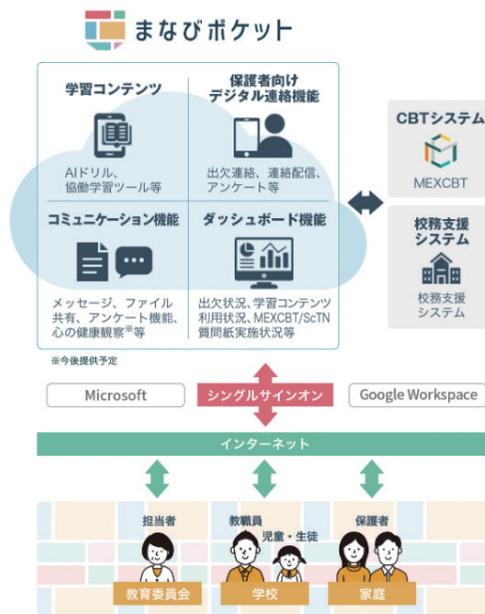
#### クラウド型プラットフォーム

近年、日本の教育現場では ICT 環境の整備が急速に進み、「学習 e ポータル」の導入率は 85% を超え、GIGA スクール構想のもと「1 人 1 台端末」の活用が広がっています。このような状況下で、NTT ドコモビジネス株式会社が提供する「まなびポケット」は、シェア No.1 を誇る学習 e ポータルとして、全国 10,000 校以上に導入されています（2025 年 1 月現在）。また、申込 ID 数は 600 万を突破し、教育現場の ICT 化を強力にサポートする

クラウド型教育プラットフォームとして、多くの学校で活用されています。

まなびポケットは、教師や児童生徒が多様な学習コンテンツを活用できる環境を提供し、「主体的・対話的で深い学び」を支援します。Google Workspace や Microsoft 365 ともシングルサインオン (SSO) が可能であり、校務支援システムや文部科学省 CBT システム (MEXCBT) との連携も実現。これにより、教育現場の業務効率化と学習の個別最適化が可能となります。

### ◆クラウド型教育プラットフォーム イメージ図



## 2 WEBQUとまなびポケットとの関連

まなびポケット上で提供されるコンテンツの一つが「WEBQU」です。WEBQUは、児童生徒の学級生活に関する多面的な情報を収集し、教師が学級の状況をリアルタイムで把握できる標準化されたアンケートツールです。いじめや不登校、学習意欲など、児童生徒の心理・行動特性を可視化することで、教師は的確な支援策を講じることが可能となります。質問項目は、いじめ・不登校・意欲・行動・部活動など、児童生徒の学級生活や学習に関わる多様な要素を網羅しており、個人

およびクラス全体の状態を視覚的に把握できます。これにより、教師は課題を早期に発見し、迅速な状況把握と指導方針の見直しが可能となります。

さらに、WEBQUのオプション機能である「学力クロス分析」機能を活用することで、学級の「満足度」と「学力」データを独自に組み合わせ、児童生徒の心理的・社会的側面をより正確に把握できます。学力と学級環境の関連性を的確に捉え、指導や学級運営の改善につなげることができるようにするのです。

## 3 未来を創る!WEBQUで進化するデータ活用教育

教育現場でのデータ活用が進む中、文部科学省が推進する「データ駆動型教育」においても、WEBQUは、その理念に沿ったデータ分析が可能なツールとして注目されています。GIGAスクール構想の下、全国の学校では膨大な学習データが蓄積されていますが、それを効果的に活用し、個別最適化された指導を行うには、WEBQUによるデータ分析が重要な役割を果たします。WEBQUは、学力

の定量的なデータと心理的な満足度データを統合し、学習意欲や協働的な学びの促進に役立ちます。

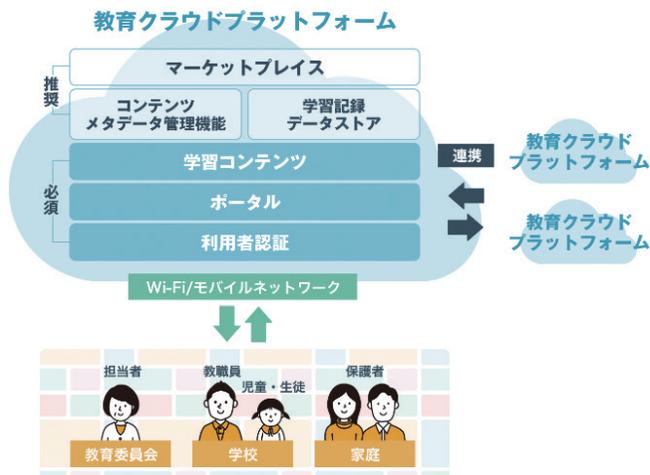
このデータ駆動型のアプローチにより、WEBQUは教育現場の課題を早期に発見し、適切なフォローアップを実現します。さらに、データに基づいた指導を通じて、教育効果を最大化し、児童生徒一人ひとりの成長を着実に支援することができます。

## 4 安心・信頼の標準仕様に準拠

まなびポケットは、国が定める「教育クラウドプラットフォーム参考技術仕様」に準拠し、文部科学省の「教育情報セキュリティポリシーガイドライン」に沿ったセキュリティ

対策を講じています。これにより、個人情報を含むデータも安全に保管・管理され、学校現場で安心して活用することができます。

## ◆教育クラウドプラットフォーム



## 5 信頼のセキュリティで安心の学びを

まなびポケットは、文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準拠し、授業・学習系システムとして必要なセキュリティを具備しています。

個人情報を取り扱う場合も、自治体の個人情報保護条例で求められる保護措置に対応し、安心・安全に保管・管理が可能です（複数の自治体での条例対応実績あり）。

### ◆安心して利用できるセキュリティ

<b>認証機能</b> 複数人での端末共有にも安心して利用できます。	学校コードによる認証と個人ID/PWによる認証で利用者を特定	1つのIDですべてのコンテンツをセキュアに利用可能	Google Workspace・Microsoft Azure AD等外部サービスとの認証連携を任意で設定することが可能	
<b>障害対策</b> 常に安定した環境でご利用いただけます。	すべてのNW機器とサーバーを冗長構成で構築し、Webアクセスは負荷分散を実施	日次でバックアップを取得し、万一データ損失が発生しても復元が可能	日本国内のクラウド基盤を採用	
<b>不正アクセスウィルス対策</b> 個人情報漏洩への各種対策を施しております。	ファイアウォールにより、外部からまなびポケットへの不要な通信を遮断	WebApplicationFirewallにより、悪意のある第三者攻撃を検知	通信はSSL暗号化され、SSLアクセラレータ機能によって復号化	アンチウイルスソフトを導入し、リアルタイムでウイルスから保護

まなびポケットを通じてWEBQUを導入することで、教師は日々の指導の質を向上させ、児童生徒が安心して学びに向かえる環境を構

築できます。今後の教育現場において、これらのデジタルツールの活用が、よりよい学びの場を提供する重要な鍵となるでしょう。